

テニス大会要項

- 1 大会名 第8回 筑前地区中学校テニス大会
- 2 期 日 令和4年7月16日(土)・7月17日(日) 〈予備日:7月23日(土)〉
7月16日(土)個人戦 ※受付 8:30~8:45
監督会議 8:45
競技開始 9:15
7月17日(日)個人戦・団体戦 ※受付 8:30~8:45
監督会議 8:45
競技開始 9:15
- 3 会 場 春日公園テニスコート 会場住所 春日市原町3-1-4
- 4 参加制限
(1)個人戦(シングルス・ダブルス)は、ともにフリーエントリーとする。ただし、重複して出場することはできない。ダブルスのペアは同一中学校の生徒とする。
(2)団体戦におけるチーム編成は、監督1名(コーチ1名)、選手7~10名の計12名以内とする。
- 5 競技方式
(1)個人戦・団体戦ともにトーナメント方式とする。
(2)試合は1セットマッチ(6ゲームズオール後タイブレイク)を原則とするが、天候等の事情によって、大会本部で協議の上、短縮措置をとる場合がある。
(3)団体戦は、3シングルスと2ダブルスの対抗戦とする。同一対戦中は、同一選手がシングルスとダブルスの両方に出場することはできない。試合順はD2→D1→S3→S2→S1とする。初戦は(どちらか一方でも)5ポイントとも対戦し、2回戦からは3ポイント先取とする。
(4)審判は敗者によるSCU(ソロチェアアンパイア)とする。1Rは大会本部協議の上、個別に依頼する。なお、状況によりSCUを置かない場合がある。
※本大会でのSCUは、JTA公認のルールブックにおけるSCUより簡易化されている。本大会でのSCUの役割は、以下の通りとする。

○判定(ジャッジ)は行わず、試合の進行と記録及び結果を確認し本部に報告する。基本的に、判定は選手同士の「セルフジャッジ」で進めていく。SCUがそのプレーヤー・チームの判定が明らかに間違っていると判断した場合、直ちにオーバールール(判定の訂正)をする。
○試合の進行とは、試合開始・終了・ポイントのコールを行うことである。

監督は、出場選手に「セルフジャッジ」およびSCUの方法を指導しておくこと。(SCUのコール例と審判記録記入例を参照)

(5)試合の進め方

【試合前】

本部前の「オーダー・オブ・プレイ(進行用掲示板)」を確認し、選手は自分の番号が何番目のどの試合に入るかを必ず把握すること。前の人の試合が終わったらすぐ試合に入れるよう、若い(小さい)番号のチーム・選手はあらかじめ本部にボールを取りに行くこと。

【試合中】

練習前の練習はサーブ4本とする。

1ゲーム終了後のコートチェンジの際はレストをとらないこと。

(ただし、団体戦においては認める。)

けがや体調不良・熱中症のために応急処置が必要な場合は、SCUに申し出て、3分間のメディカルタイムアウトを取り、処置または手当てを1回に限り受けることができる。手当てをする部位によっては、コート外で処置を受けることができる。

熱中症対策として特別ヒートルールを採用する。その内容は、日本テニス協会が定めるヒートルールとは異なり、以下の通りとする。

大会本部が計測する気温を参考に、35℃以上を超えた場合に適用する。適用する場合は、大会本部よりアナウンスを行う。適用時は、ゲームカウント5-5時に、ベンチでの5分間の休憩を与える。その際、物資の提供は認めるが、選手がコートを離れること、コート外からのアドバイスや関係者がコートに入ることを禁じる。団体戦の場合も、選手とベンチコーチとの接触を禁じる。

【試合後】

試合終了後、勝者とSCUは共に本部に行き、両者の選手のサインが入った「スコアシート」を提出する。敗者は、そのまま試合をしたコートに残り、次の試合のSCUを行う。

6 競技規則

- (1)令和4年度(公財)日本テニス協会競技規則、並びに本大会規則による。
- (2)引率・監督は出場校の校長・教員・部活動指導員とする。団体戦のコーチについては、出場校の教育職員(部活動指導員を含む)を原則とする。但し、教育職員以外をコーチとする場合は、校長が認め、筑前地区中体連に登録し承認を受けたものとする。
- (3)使用球はダンロップAOとする。
- (4)服装・ゼッケン・その他の規定は、下記の申し合わせ事項を参照のこと。
- (5)団体戦のオーダーは、各試合ごとに1枚作成し、大会本部と対戦相手校に提出する。
- (6)団体戦の場合、監督・コーチは試合前の挨拶に立ち会うこと。団体戦のみ、団体戦登録選手、監督及びコーチのいずれかはベンチコーチとして、各コートに1名のみ入ることができる。個人戦のベンチコーチは認めない。それ以外の外部からのコーチングは一切禁止する。電源を通信機器のコート内持ち込みは禁止する。

7 申し合わせ事項

- (1)開会式・開始式前にマナーチェックを行う。
- (2)災害発生時およびJアラート警報が発令された場合は、競技を一時中断し、安全を確保の上、警報が解除され次第競技を再開する。
- (3)AEDの設置場所については、監督者会議で確認する。
- (4)別紙「新型コロナウイルス感染防止対策ガイドライン」を確認すること。
- (5)選手の服装・道具は、以下の通りである。製造業者ロゴについては、下記指定のサイズ以下を可とする。
 - ①コマーシャルロゴは認めない。学校名(19.5平方cm以内)を片袖に刺繍することは認める。
 - ②長袖のアンダーシャツやスパッツの着用を単色であれば認める。また、競技中にシャツの裾を外へ出したり袖をまくることはしない。
 - ③サングラスは原則として禁止する。ただし、医師の判断がある(当日に診断書等を提示すること)場合は、本部で協議のうえ許可する場合もある。
 - ④団体戦の際、監督およびコーチは、スポーツウェア・テニスシューズを着用すること。

【シャツ】

- シャツは、男女とも半袖のゲームシャツとする。ただし、女子のワンピースはウエストより上部をシャツ、下部をスカートとみなし、袖なしでも可とする。
- 背中にゼッケンを付けること。
- 製造業者ロゴ
(文字なしロゴの場合は、77.5平方cm以下のものを各袖または脇の縫い目に可)
男子：前身頃または襟に39平方cm以下2つ、または前身頃と襟に39平方cm以下1つの場合は、後身頃に26平方cm以下1つ。袖には、39平方cm以下2つ。
女子：前身頃または襟に13平方cm以下2つ、または26平方cm以下1つ。袖には、26平方cm以下1つ。

【パンツ・スカート】

- 製造業者ロゴ
男子：13平方cm以下2つ、または26平方cm以下を前に1つ、後ろに1つ。
女子：13平方cm以下2つ、または26平方cm以下を前に1つ。

【コンプレッションショーツ(ひざ丈)】

- 製造業者ロゴ
男子：13平方cm以下2つ、または26平方cm以下1つ。
女子：13平方cm以下1つ。

【ソックス・シューズ】

- ソックスはくるぶしより上で膝より下のものとする
- 製造業者ロゴ
男子：制限なし。 女子：13平方cm以下について、数の制限なし。

【ラケット】

- ステンシルマークは不可。
- 製造業者ロゴ
フレーム部分について、大きさ・数の制限なし。

【帽子・リストバンド】

- 製造業者ロゴ
男子：26平方cm以下1つ。 女子：19.5平方cm以下1つ。

【バッグ】

- 製造業者ロゴ
大きさと数に制限はない。

【ゼッケン】

- B5版大横(白地(縦約18cm×横約26cm))のゼッケンをシャツの背面につけること。
- ゼッケンは、シャツとは別の布で作られたもので、縫いつけられたものとする。脱着に都合のよいようにホック(スナップ)等で留めることを許可する。
- ゼッケンの文字位置は、上段(1/3)と下段(2/3)の二段組みとし、上段左側に県名(福岡)、上段右側に学校名(校名には中学校の「中」の文字はつけない)、下段に名前(名字のみ)を記すこと。(ゼッケン例を参照のこと。)ただし、同一校に同姓の選手がいる場合には、名の1文字を付け加えること。
- ゼッケンの表記については、届け出たとおりの表記とし、文字は「漢字」または「仮名」のみを使用し、独自の『ひらがな』、『カタカナ』、『ローマ字』などは使用しないこと。

(ゼッケン例)

縦約18cm×横約26cm(背面)

福岡	太宰府南
菅	原 道

- 8 参加資格 筑前地区中学校総合大会参加資格「特別規定」による。
- 9 表彰 3位まで
※個人戦シングルス男子上位10名・女子5名、ダブルス男子上位4組・女子5組、団体戦男女上位2校は、県大会への参加義務を負う。
- 県大会：令和4年7月27日(水)・7月28日(木)・7月29日(金)
会場 春日公園テニスコート
- 10 申し込み (1)申し込みは、所属中学校を通じて行う。
(2)申し込みは、申込用紙に必要事項を記入し、校長職印を押印後、郵送にて申し込むこと。
(3)申し込み締切 **令和4年6月28日(火)必着**
(4)申し込み先 〒818-0103 太宰府市朱雀5-6-1 筑陽学園中学校 岡田 幸浩 宛
- 11 専門委員 筑紫(筑陽学園中：岡田 幸浩) 宗像(津屋崎中：森下 嵯介)
糸島(前原中：吉原 圭吾) 糟屋(志免東中：林 琴枝)
- 12 組み合わせ 7月11日(月)以降に、筑前地区中学校体育連盟ホームページ(<http://www.fukuoka.chutairen.com/chikuzen/>)に、アップロードする。
- 13 その他 (1)各参加校は、福岡県中学校体育連盟ホームページよりダウンロードした県大会選手申込書に必要事項の記入および校長職印を押印したものを、大会当日に持参すること。
(2)大会当日の競技実施中に、壁打ちコートおよび1～3・11～16コートを使用して練習を行うことを禁止する。